

見慣れた植物の意外な一面

じゃがいもの実



今回の珍百景は、鵜殿地区で家庭菜園を楽しんでいる方の畑で見つかった、珍しいじゃがいもの実をご紹介します。

じゃがいもといえば、土の中で育ち、茶色い姿を思い浮かべる方が多いと思います。しかし、私たちが普段食べているじゃがいもは「実」ではなく、茎が大きく膨らんだものです。実は、今回見つかった地上にできるミニトマトのような姿が、じゃがいもの本当の「実」です。じゃがいもは、ナス科の植物なので、稀に実がなることがあります。実がなるには気温や水分状態、日当たりなどいくつかの条件がそろったときにできるそうで、見たところがある方は貴重かもしれません。

見た目はミニトマトに似ていて、食べられそうですが、じゃがいもの実には、「ソラニン」や「チャコニン」といった毒素が多く含まれており、決して食べてはいけません。見つけても食べられないのは残念ですが、「いくつかの幸運が重なった」と、植物の不思議をそと観察してみてもいいかもしれません。

— 珍百景を募集!! —

みなさんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ?」って思わず言うってしまったような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係(☎33-0334)までご連絡ください。お待ちしております。

ひやうひやう

認知症特集を組んで

今回の特集は、認知症について取り上げました。

取材をする中で特に感じたのは、認知症になっても、その人らしさや大切にしてきたものがなくなるわけではないということです。認知症を正しく知り、本人の気持ちや希望に耳を傾けることが、大切だと感じました。今回の特集をきっかけに、認知症を少しでも身近なこととして考えていただければ幸いです。そして、認知症になっても自分らしさを保ちながら、住み慣れた紀宝町でこれからも暮らし続けられる、そんな地域でありたいと願っています。

最後になりましたが、今回の特集にあたり、インタビューに快くご協力いただいたみなさん、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

(その人らしさを大切に 田中 健太郎)

真夏の夜は二刀流で

最近は一時期より暑さが落ち着き、涼しくなってきました。就寝時のエアコンも不要になってきたのではと思いますが、今回は就寝時にエアコンをつけて痛い目に遭ったお話を書かせていただきます。

その日もいつもどおり、エアコンをつけて就寝しました。しかし、目が覚めると喉に痛みが出てきたのです。「すぐ治るだろう」と、のど飴を舐めて過ごして様子を見ていたところ、一度は和らいだものの、次の日、目が覚めると悪化し、声がかすれてまともに話すことができませんでした。「これはまずい」と病院に行き、診察してもらったところ「エアコンで空気が乾燥したのが原因」と診断されました。それ以降エアコンを使用するときは、一緒に加湿器も使用して対策しています。エアコンで喉を痛めた経験がある方はぜひ加湿器も一緒に使用してみてください。

(夏風邪ではなかった 曾越 大成)

